

安全報告書 2023



京都丹後鉄道

WILLER  TRAINS

はじめに

平素は京都丹後鉄道をご利用いただき、誠に有難うございます。

昨年度は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行され、漸くコロナ禍から脱却し、正常化により経済活動が回復するとともに、鉄道の乗車人員も増加しました。

また、コロナ禍で中止となっていた各地のイベントが再開し、当社においても、地域と一体となった取組を積極的に行い、地域活性化に努めました。

そのような中、安全はすべてに優先し経営の最も重要な課題と位置づけ全社一丸となり輸送の安全確保に取り組んでおりましたが、昨年4月に宮舞線の下由里踏切(第4種踏切)において踏切障害事故が発生しました。

当社としては今回の事故を重く受け留め、再発防止策として令和5年12月21日付運輸安全委員会の鉄道事故調査報告書の内容にしたがい、関係者との調整を開始しているところです。

また、更なる安全性向上のため、他の第4種踏切並びに第3種踏切につきましても、沿線自治体等と廃止又は第1種踏切への格上げについて協議を開始しております。

今後とも、北近畿タンゴ鉄道株式会社と十分な連携を図り、ハード・ソフト両面にわたり更なる安全性の向上に取組み、皆さまに信頼される鉄道を目指してまいります。

この報告書は、鉄道事業法に基づき、鉄道運転事故、輸送障害等の発生状況並びに事故防止対策など輸送の安全を確保するための取組につきまして皆さまにご報告するものです。

ご一読いただき、ご助言・ご意見をいただくとともに、末永くご愛顧賜りますようお願い申し上げます。



WILLER TRAINS 株式会社
代表取締役 飯島 徹

安全に関する基本方針と目標・重点実施施策

輸送の安全確保が最大の使命との意識を持ち、「安全方針」「行動規範」を掲げ、社長、役員及び社員一丸となり輸送の安全確保に取り組めます。

1. 安全方針

私たちは法令・規程を遵守し、輸送の安全を最優先するとともに、さらなる安全性の向上を目指して、継続的な改善に努め、安全で安定した輸送を提供し、お客様に安心・信頼される鉄道を築きあげます。

2. 行動規範

社長、役員及び社員の行動指針として「安全に係る行動規範」を定め、規範に基づき行動します。

- (1) 一致協力して輸送の安全確保に努めます。
- (2) 輸送の安全に関する法令及び関連する規程をよく理解するとともに、これを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行します。
- (3) 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めます。
- (4) 職務の実施に当たり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取扱いをします。
- (5) 事故、事故の恐れのある事態、災害その他輸送の安全確保に支障を及ぼす恐れのある事態が発生したときは、人命救助を最も優先に行動し、速やかに安全適切な処置をとります。
- (6) 情報はもれなく迅速、正確に伝え、透明性を確保します。
- (7) 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦します。

3. 2024年度 安全目標

安全方針に基づき具体的な安全目標を定め、各部門において事故等の発生「ゼロ」に取り組めます。

責任事故・インシデント「ゼロ」への挑戦

※当社の責任(ヒューマンエラー・設備保守・管理に起因する事象)による

鉄道運転事故・インシデント「ゼロ」への挑戦

4. 2024年度 重点実施施策

重点実施施策を掲げ、安全目標の達成に向けて取り組めます。

[1] ハード面の取り組み

国、京都府、兵庫県、沿線自治体からの支援を得て、北近畿タンゴ鉄道株式会社が行う設備投資の設計及び施工管理等を受託して、施設・車両の整備や踏切事故防止対策として踏切保安設備の整備等を図り保安度向上・安全性の向上をはかります。

[設備投資]

設 備	項 目	具体的実施内容
線路設備	PC マクラギ化	宮津線 岩滝口～与謝野・峰山～網野・網野～夕日ヶ浦木津温泉・久美浜～コウトリの郷間 合計 1488 本
	合成橋マクラギ化	宮津線 大膳豪橋りょう・第一五十河川橋りょう・鯨橋りょう・鱒留川避橋りょう・荒山橋りょう・第二生野内橋りょう・目切谷川橋りょう・公庄谷川りょう・森の下橋りょう・福田川橋りょう・岡田川橋りょう・佐野谷川避橋りょう・湊街道橋りょう・第一鹿野橋りょう・甲山開渠・第二甲山避橋りょう・川崎川橋りょう・奥馬路谷川橋りょう・馬路谷川橋りょう・東畑橋りょう 合計 384 本
	踏切道改良	栗田踏切(栗田～宮津) 郡是踏切(宮津駅構内) 中ノ丁踏切(宮津駅構内 2 箇所) 第一赤坂踏切(峰山～網野) 合計 5 踏切
	道床碎石化	西舞鶴～四所間 4k205m 264.0m 網野構内 1#線 55k724m 176.0m 合計 440.0m
	鉄桁ペイント塗装 (フッ素塗装)	宮津線 背戸橋りょう・高野川橋りょう・第二下東橋りょう・第三下東橋りょう・近道架道橋・第一水間橋りょう・第二水間橋りょう・中坪橋りょう・竹ヶ鼻橋りょう・野田橋りょう・油江橋りょう・奈具橋りょう・稻荷橋りょう・境目谷橋りょう・城ヶ谷橋りょう・栗田橋りょう・奥山川橋りょう・中村橋りょう・高畑橋りょう・巫女川橋りょう・大膳豪橋りょう・狹師橋りょう・中屋橋りょう・京口橋りょう・如願寺橋りょう・山王橋りょう・時雨橋りょう・霞谷橋りょう・金得橋りょう・宮川橋りょう・竹内橋りょう・第一五十河川橋りょう 合計 32 橋りょう
	鉄桁ペイント塗装 (フッ素塗装)	宮津線 由良川橋りょう(丹後神崎～丹後由良間) 合計 1 橋りょう
	橋りょうコンクリート補強	宮津線 由良川橋りょう(丹後神崎～丹後由良間) 合計 1 橋りょう
	トンネル改良	宮津線 楠弥寺トンネル(西舞鶴～四所間)
	トンネル改良(剥落防止対策)	宮津線 千石山トンネル(久美浜～コウトリの郷間) 宮福線 狭間トンネル(牧～荒河かしの木台間)
	トンネル補強(漏水対策工)	宮津線 馬路トンネル(久美浜～コウトリの郷間)
	法面固定	与謝野～京丹後大宮間 37k800m・網野～夕日ヶ浦木津温泉間 58k900m
	踏切道改良(1 種化)	宮津線 姫御前踏切 京丹後大宮～峰山間 合計 1 踏切
	レール交換	西舞鶴～四所間 4k205m 1,083.6m 峰山～網野間 51k234m 581.3m 久美浜～コウトリの郷間 76k242m 703.0m 合計 2,367.9m
	分岐マクラギ(合成化)	四所駅・東雲駅・丹後由良駅・栗田駅・宮津駅・峰山駅・網野駅・久美浜駅 合計 8 駅 334 本
	信号保安設備	踏切保安設備更新
連動装置(H・AC 軌道回路装置更新)		宮福線 宮津・宮村・大江山口内宮 合計 3 駅
連動装置 電気転てつ器更新		宮福線 宮村・大江・牧 合計 3 駅
通信ケーブル更新		宮福線 宮津～大江間 19,600m
CTC 装置・PRC 装置更新		宮津線 宮津駅 宮津指令 運行管理システム更新 1 式
踏切道改良(1 種化)		宮津線 姫御前踏切(京丹後大宮～峰山間) 合計 1 踏切
発動発電機更新		宮津駅・宮村駅・大江山口内宮駅・大江駅・牧駅・荒河かしの木台駅 合計 6 駅 6 基
電路設備	電柱(コンクリート柱化)	宮津線 四所・コウトリの郷間 通信用木柱のコンクリート柱化 50 本
	電車線トンネル支持がいし更新	宮福線 喜多～辛皮間(650 個)
車 両	車両設備	普通車両用エンジン 1 基・普通用変速機 2 基

[2] ソフト面の取り組み

1. 安全意識・感度の更なる向上

⇒【状態目標】 ルールや仕組みの構築、組織として安全最優先の考動を実践している。

2. 知識・技能の向上

⇒【状態目標】 安全、安定輸送を実現するために、日々の業務を着実に実行するとともに、異常時に対する仕組みの見直しや対応力の向上を継続している。

3. 鉄道施設・車両の確実な保守・管理の徹底

⇒【状態目標】 設備の継続的な維持、改善の重要性を理解し、効果的なハード対策を策定、実施することにより、重大事故の未然防止を実現している。

4. 労働災害防止の意識向上

⇒【状態目標】 社員の安全感度・安全意識の向上でリスク対応ができています。

2023年度運転事故等の発生状況

1. 鉄道運転事故

令和5年4月10日、西舞鶴～四所間の下由里踏切(第4種)において、踏切障害事故が発生しました。

2. 輸送障害(旅客列車の30分以上の遅延・運休)

45件発生しました。うち、自然災害等による事象は13件、鉄道外の原因(JR線内遅れに伴う遅発等)による事象が21件、人的要素が原因となる事象が2件、設備故障等の部内原因となる事象が9件発生しました。ご利用のお客様はじめ、沿線の皆様には大変ご迷惑をおかけしましたこととお詫び申し上げます。

3. インシデント

発生はありません

4. 行政指導等

行政指導等はありません。

2023年度「安全確保の取り組み」

令和5年度はハード面の対策を実施し設備の新設・更新をしました。また、ソフト面においては、下記5項目を中心に取り組みました。

- (1) 安全文化の構築
- (2) 運転関係係員の知識・技能の向上
- (3) 鉄道施設・車両の確実な保守・管理の徹底
- (4) さらなる安全性向上の追及
- (5) 労働災害防止の意識の向上

1. ハード面の取り組み状況

国、行政、自治体からの支援等による設備の更新、並びに確実な検査・修繕を行い安全性の向上に努めたほか、JR 東海旅客鉄道株式会社から譲渡を受けたキハ85車両は、3月16日ダイヤ改正から線内特急車両 KTR8500形として運用開始し、利便性の向上をはかりました。

[設備投資]

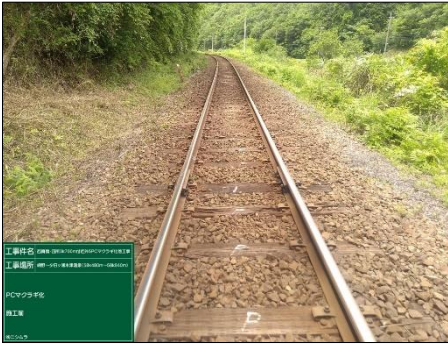
設 備	項 目	具体的実施内容
線路設備	PC マクラギ化	宮津線 西舞鶴～四所・与謝野～京丹後大宮・網野～夕日ヶ浦木津温泉・久美浜～コウノトリの郷間 4区間 合計 903 本
	合成橋マクラギ化	宮津線 第一水間橋りょう(四所～東雲)・福田川橋りょう(峰山～網野)・第三網野街道橋りょう・第二網野街道橋りょう・第一網野街道橋りょう(網野～夕日ヶ浦木津温泉)・栃谷川橋りょう(かぶと山～久美浜)・口馬路橋りょう(久美浜～コウノトリの郷)・久美浜街道橋りょう・第四豊岡橋りょう・第三豊岡橋りょう(コウノトリの郷～豊岡) 合計 266 本
	橋りょうコンクリート補強	宮福線 喜多～辛皮(第二大手川 B)・大江山口内宮～二俣(第二二俣架道橋)・大江高校前～大江(河守高架橋) 合計 3 橋りょう
	トンネル改良(覆工補強)	喜多～辛皮間(小田トンネル、普甲トンネル) 合計 2 箇所
	トンネル改良(セントル)	西舞鶴～四所(楠祢寺トンネル)・丹後由良～栗田(権太山トンネル) 合計 2 箇所
	踏切道改良	第二水間踏切(四所～東雲)・宮津踏切(宮津駅構内)・第二桜山踏切(天橋立～岩滝口) 合計 3 踏切
	軌道道床砕石化	天橋立構内 178m・与謝野構内 51m・かぶと山～久美浜 91m 合計 320m
	橋梁塗装(フッ素塗装)	与謝野～京丹後大宮(第二五十河川 B・常吉川 B・鯨 B)・京丹後大宮～峰山(野添 B・谷川 B・長善 B・愛染 B・姫御前 B・米川 B・鱒留川 B・鱒留川(避) B) 合計 11 橋りょう
	き電線絶縁碍子更新	辛皮～荒河かしの木台間 合計 597 個
電 路	木柱のコンクリート化	宮津線 小天橋～豊岡間 合計 45 本
信号保安設備	踏切保安設備(警報機・遮断機他の更新)	宮津線 京丹後大宮～峰山 新町踏切
	連動装置(電気転てつ機更新)	宮津駅・大江山口内宮駅・荒河かしの木台駅 合計 3 駅 6 組
	通信ケーブル更新	宮福線 福知山～大江間 架空通信ケーブル 13700m 配線箱新設 15 箇所
	踏切電気遮断機更新	宮津線 西舞鶴～かぶと山間 合計 16 踏切(26 組)
車 両	車両設備	特急用エンジン 2基・特急用変速機 1基 普通用エンジン 1基・普通用変速機 1基
	車両保存	重要部検査 KTR8000形 2両・KTR700形 1両 KTR300形 1両 全般検査 KTR8000形 2両・KTR700形 2両 KTR8500形 2両

[令和5年度ハード面の取組状況]

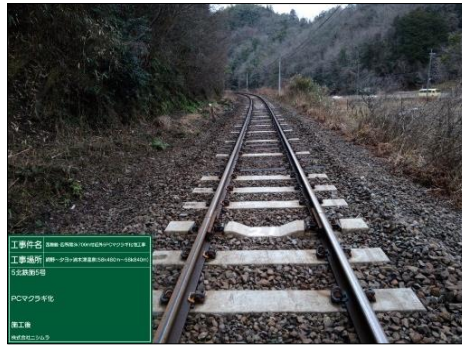
○コンクリートマクラギ化

網野～夕日ヶ浦木津温泉 (58k480m～58k840m)

施行前



施行後



○合成マクラギ化

コウノトリの郷～豊岡間 (第三豊岡(避)橋りょう)

施行前



施行後



○トンネル改良(セントル改良)

西舞鶴～四所間(楠祢寺トンネル)

施行前



施行後



○踏切道改良

宮津駅構内(宮津踏切)

施行前



施行後



[運転の安全確保]

○令和5年雪害対応

令和5年1月24日に、強い寒波(大雪警報発令)が襲来し、計画運転休止を実施しました。翌日25日についても、計画運転休止を継続させ、鉄道事業を通じた地域貢献の役割を果たす思いから、社員一丸となり万全の態勢で、安全確保(モーターカーロータリー車による除雪及び、ホーム、ポイント除雪)に取組み、翌日の始発から全線運転再開しました。

計画運休は、お客様の安全確保が困難(運行中の列車が、駅間で停車等、重大な輸送障害を発生させて、お客様の安全を脅かす事象を防ぐ)であると判断した時は、京都丹後鉄道の安全を守るための重大な決断(計画運休)にご理解をお願いします。



○安全確保に向けた啓発活動(踏切事故防止キャンペーン)

踏切事故防止キャンペーン期間中の令和5年11月2日に宮津駅前と中ノ町踏切で、事故防止の啓発活動を行いました。



[安全確保の推奨事例]

○事故、災害等を未然に防ぎ、又は異常に際し適切に対応し、被害を最小限にとどめるなど、特に功労のあった社員に対して表彰を行いました。令和5年度は以下の4名が本部長表彰を受賞しました。



令和5年4月1日、駅構内にある第1種踏切の降下時機が早いことを発見し、関係箇所へ通報することで、車の渋滞及び危横断が発生することを防止しました。



令和5年5月20日の仕業検査時に、冷房コンプレッサーのVベルト異常を発見、急遽運用変更を行い、修繕した。運用を続けていた場合、ベルトが切断し、冷房故障が発生する可能性があり、未然に車両故障を防止することができました。



令和5年11月11日、乗車されていた他社鉄道会社の鉄道係員養成担当の方から基本動作や業務態度についてお褒めのメールを頂いた。また、11月28日、駅で転倒されたお客様の救護を迅速に行った。



令和5年3月4日、業務中に誤って川に転落した社員を発見し、迅速な救出活動を実施しました。

[KTR8500形車両(キハ85)の運行開始]

○JR 東海旅客鉄道株式会社から譲渡を受けたキハ85車両は、3月13日メディア向けに試走を行い、3月16日のダイヤ改正から線内特急車両 KTR8500形として運行開始し、当日は多くのお客様にご乗車いただきました。



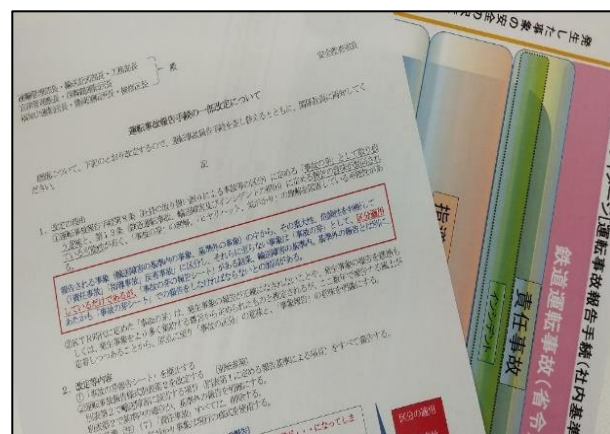
2. ソフト面の取り組み状況

[安全文化の構築]

① 報告の重要性の浸透と正確な報告の徹底

・報告することの定着化が深度化されていますが、更なる正確性をもって報告できるように推進しました。さらに、報告を全系統にメール等で配信、共有し、迅速な対応ができるように努めています。

・ヒヤリハット、気がかり事象については報告しやすい工夫と、ヒヤリハット、気がかり事象の報告で、リスク予知、安全意識の向上につながることを取組を継続しています。



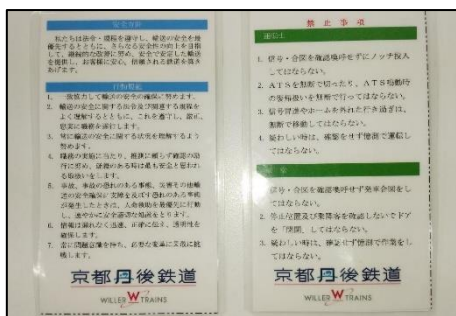
② 発生事象の共有化と対策の検討周知

・安全対策委員会が形骸化することなく、過去の対策も検証しつつ、過去対策の確認と愚直に継続ができるように努めています。

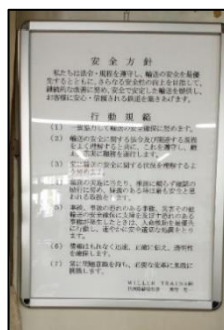
○安全意識の向上

- 安全方針、行動規範及び各系統の禁止事項を記載したカードを作成、社員一人ひとりに配布、常に携帯するとともに、本社や現場事務所に掲出し、点呼等で唱和、知悉度テストで確認するなど、安全意識の向上に努めています。

(携帯カード)



(安全方針・行動規範)



- 本社、現場とのコミュニケーションとして「安全の日(毎月14日)における職場巡回・意見交換等を継続して実施しています。

[主な取組内容]

・「安全の日」看板掲出



- 本社幹部と現場社員の意見交換会
- 列車添乗、現場巡回、作業立会
- 本社、現場の情報の共有化等
- 職場の環境整備、整理整頓、点検等

- 本社幹部は、毎月の「安全の日」には現場を巡回し、安全管理等の把握に努めています。また、多客期間(年末年始、夏期輸送)には、社長、役員等が現場社員と直接コミュニケーションを図り、運行の安全確保に努めています。

「安全の日」の制定について

安全、労働安全の観点から、安全の日を取り組むことにより、安全意識の向上を図るとともに、「安全の日」を制定し、実施しています。

1. 「安全の日」の趣旨
安全、労働安全の観点から、安全の日を取り組むことにより、安全意識の向上を図るとともに、「安全の日」を制定し、実施しています。

2. 「安全の日」の取組内容
安全、労働安全の観点から、安全の日を取り組むことにより、安全意識の向上を図るとともに、「安全の日」を制定し、実施しています。

3. 「安全の日」の取組内容
安全、労働安全の観点から、安全の日を取り組むことにより、安全意識の向上を図るとともに、「安全の日」を制定し、実施しています。

4. 実施時期
平成26年10月1日～

項目	内容	実施日時	実施場所	実施者	実施状況	備考
安全意識の向上	安全、労働安全の観点から、安全の日を取り組むことにより、安全意識の向上を図るとともに、「安全の日」を制定し、実施しています。	10月14日	本社	本社幹部	実施済み	
現場巡回	本社幹部が現場を巡回し、安全管理等の把握に努めています。	毎月14日	現場	本社幹部	実施済み	
意見交換会	本社幹部と現場社員の意見交換会を実施しています。	毎月14日	現場	本社幹部、現場社員	実施済み	
列車添乗	本社幹部が現場で列車添乗を実施しています。	毎月14日	現場	本社幹部	実施済み	
作業立会	本社幹部が現場で作業立会を実施しています。	毎月14日	現場	本社幹部	実施済み	
情報共有化	本社、現場の情報の共有化等を実施しています。	毎月14日	本社、現場	本社幹部、現場社員	実施済み	
環境整備	職場の環境整備、整理整頓、点検等を実施しています。	毎月14日	現場	現場社員	実施済み	

[運転関係係員の知識・技能の向上]

○定期的な訓練・勉強会の充実と確実な実施

各系統において年間の教育計画を策定し、計画的に勉強会等を実施し知識・技能の向上、技術継承に努めるほか、部外の教育機関等も活用し教育の充実に努めています。

年度	教育名	内容	日時	場所	参加者	実施状況	備考
R5年度後部区教育・訓練実績	乗務員訓練	乗務員訓練	7月21日	市内	乗務員	実施済み	
	乗務員訓練	乗務員訓練	10月19日	市内	乗務員	実施済み	
	乗務員訓練	乗務員訓練	12月4日	市内	乗務員	実施済み	
	乗務員訓練	乗務員訓練	11月18日	市内	乗務員	実施済み	
	乗務員訓練	乗務員訓練	11月29日	市内	乗務員	実施済み	
	乗務員訓練	乗務員訓練	11月29日	市内	乗務員	実施済み	
	乗務員訓練	乗務員訓練	11月29日	市内	乗務員	実施済み	
	乗務員訓練	乗務員訓練	11月29日	市内	乗務員	実施済み	
	乗務員訓練	乗務員訓練	11月29日	市内	乗務員	実施済み	
	乗務員訓練	乗務員訓練	11月29日	市内	乗務員	実施済み	
令和5年度 運転計画部訓練及び教育	乗務員訓練	乗務員訓練	7月21日	市内	乗務員	実施済み	
	乗務員訓練	乗務員訓練	10月19日	市内	乗務員	実施済み	
	乗務員訓練	乗務員訓練	12月4日	市内	乗務員	実施済み	
	乗務員訓練	乗務員訓練	11月18日	市内	乗務員	実施済み	
	乗務員訓練	乗務員訓練	11月29日	市内	乗務員	実施済み	
	乗務員訓練	乗務員訓練	11月29日	市内	乗務員	実施済み	
	乗務員訓練	乗務員訓練	11月29日	市内	乗務員	実施済み	
	乗務員訓練	乗務員訓練	11月29日	市内	乗務員	実施済み	
	乗務員訓練	乗務員訓練	11月29日	市内	乗務員	実施済み	
	乗務員訓練	乗務員訓練	11月29日	市内	乗務員	実施済み	
令和5年度 電気課教育実績表	乗務員訓練	乗務員訓練	7月21日	市内	乗務員	実施済み	
	乗務員訓練	乗務員訓練	10月19日	市内	乗務員	実施済み	
	乗務員訓練	乗務員訓練	12月4日	市内	乗務員	実施済み	
	乗務員訓練	乗務員訓練	11月18日	市内	乗務員	実施済み	
	乗務員訓練	乗務員訓練	11月29日	市内	乗務員	実施済み	
	乗務員訓練	乗務員訓練	11月29日	市内	乗務員	実施済み	
	乗務員訓練	乗務員訓練	11月29日	市内	乗務員	実施済み	
	乗務員訓練	乗務員訓練	11月29日	市内	乗務員	実施済み	
	乗務員訓練	乗務員訓練	11月29日	市内	乗務員	実施済み	
	乗務員訓練	乗務員訓練	11月29日	市内	乗務員	実施済み	
令和5年度 施設課教育	乗務員訓練	乗務員訓練	7月21日	市内	乗務員	実施済み	
	乗務員訓練	乗務員訓練	10月19日	市内	乗務員	実施済み	
	乗務員訓練	乗務員訓練	12月4日	市内	乗務員	実施済み	
	乗務員訓練	乗務員訓練	11月18日	市内	乗務員	実施済み	
	乗務員訓練	乗務員訓練	11月29日	市内	乗務員	実施済み	
	乗務員訓練	乗務員訓練	11月29日	市内	乗務員	実施済み	
	乗務員訓練	乗務員訓練	11月29日	市内	乗務員	実施済み	
	乗務員訓練	乗務員訓練	11月29日	市内	乗務員	実施済み	
	乗務員訓練	乗務員訓練	11月29日	市内	乗務員	実施済み	
	乗務員訓練	乗務員訓練	11月29日	市内	乗務員	実施済み	

【主な教育訓練】

法律や省令等に定める訓練等のほか、各系統における勉強会等を実施し知識・技能の向上、技術継承に努めました。さらなる充実、工夫に努めてまいります。

【管理職】

○管理職研修(ヒューマンファクター研修) 令和6年2月22日 教育人員 23名

JR 西日本 鉄道本部 安全研究所様より講師をお招きし、管理職を中心にヒューマンファクター研修を受講し、安全優先する企業風土・体制作りの重要性を学びました。



【駅運転係員】

(駅運転) ・列車取扱訓練(分併作業訓練、解放テコ扱い、代用手信号の取扱)

- ・災害時の取扱勉強会 ・各種工事の取扱 ・ダイヤの理解 ・除雪教育(触車事故防止要領等)
- ・知悉度テスト等

○新入社員(管理駅)安全教育 令和5年4月25・26日 教育人員 6名



○人身事故対応訓練 令和5年5月22・29日 教育人員 21名

○エレベーター救出訓練 令和5年5月30・31日 教育人員 25名

○気動車分割訓練 令和5年6月26・28日 教育人員 24名



○災害時における運転取扱訓練 令和5年7月25・26日 教育人員9名

○指令勉強会(退行、伝令法の異常時対応訓練) 令和5年10月19・30日 教育人員9名

○冬期除雪教育 令和5年11月30日・12月1日 教育人員24名



○駅運転係教育 令和5年12月18日 教育人員1名



○運転指令教育 令和6年2月1日 教育人員1名



【運転士・車掌】

(乗務員)・年間12時間以上

- ・運転士訓練(異常時の取扱、鉄道人身事故対処方、気象異常時の取扱、知悉度テスト等)
- ・車掌訓練(異常時の取扱、鉄道人身事故対処方、サービス機器異常時の取扱、知悉度テスト)

【検修関係】

- (検修)・触車事故防止要領、MF・KTR車全般検査・要部検査教育実習、知悉度テスト等
- ・操車担当、信号担当に対して「入換に関する規程等」教育、知悉度テスト実施

【工務関係】

(施設)・全作業員への教育:年1回4時間以上

- (運転関係規程、災害警備マニュアル、触車事故防止、列車防護線路災害等の応急復旧、安全作業、知悉度テスト等)
- ・新任社員(運転関係規程、災害時等の運転規制、ダイヤの勉強、触車事故防止要領、列車防護、知悉度テスト等)
 - ・新任者教育(線路閉鎖工事、トロリー使用、保守用車取扱)
 - ・感電事故防止、除雪作業等教育

(電 気)・全作業員への教育:年1回4時間以上

(運転関係規程、災害警備マニュアル、触車事故防止、列車防護線路災害等の応急復旧、安全作業、知悉度テスト等)

- ・新任社員(運転関係規程、災害時等の運転規制、ダイヤの勉強、触車事故防止要領、列車防護、知悉度テスト等)
- ・新任者教育(線路閉鎖工事、トロリー使用、保守用車取扱)
- ・感電事故防止、除雪作業等教育

○令和5年度 保線初等科入門講座 令和5年6月6～9日 教育人員1名



○令和5年度 保線3年次土木技術者講座 令和5年7月31～8月4日 教育人員1名



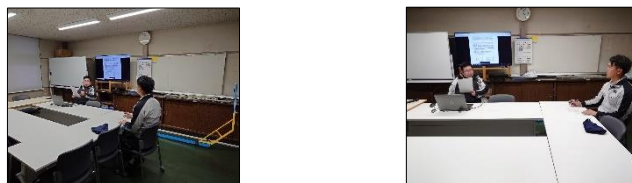
○モーターロータリー取扱訓練 令和5年11月7日 教育人数16名



○列車防護訓練 令和6年3月19日 教育人数20名



○プラットフォーム教育 令和6年3月5日 教育人数1名



○レール損傷応急処置器、穿孔機、レール切断機取扱訓練 令和5年12月21日 教育人数10名



○異常時取扱訓練 令和6年3月19日 教育人数20名

【観光列車アテンダント】

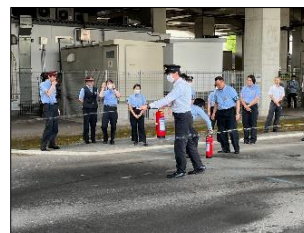
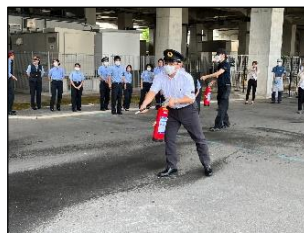
○食品衛生管理研修 令和5年12月14日 教育人員7名



【異常時対応訓練等の実施】

各現場の異常時対応能力の向上を目的とした異常時訓練は、駅指令員については実設訓練で実施。また検修・工務系統においても経験の浅い社員を対象に応急復旧訓練をおこなっています。今後とも、各系統において技術力向上のために工夫をした訓練の実施を継続します。一方、当社が主体となり、系統をまたがる訓練、警察等と連携した緊急時対応訓練を実施しました。

○福知山駅合同消防訓練 令和5年10月15日 WILLER TRAINS 教育人員4名



○鉄道テロ・迷惑行為合同訓練

駅改札口で女性のお客様から痴漢行為があったとの申告を受け、対応を行っていた駅係員が不審者から切り付けられたという状況を想定し、迅速、的確な情報提供とお客様の避難誘導、警察は連絡体制の確認、犯人制圧の訓練を実施しました。

- ・実施日 令和5年11月8日 10:35～
- ・実施場所 宮津駅構内3番ホーム
- ・訓練想定 痴漢行為があったとの申告を受けた駅係員が駅跨線橋裏に潜んでいた不審者から切り付けられ負傷した
- ・参加者 WILLER TRAINS 12名 宮津警察 6名



○事業継続を支える新規・中途採用

全国的に採用状況が厳しい中、安定的な事業継続のために積極的な新規・中途採用等を行いました。

系 統	運輸系統 (駅・車掌・運転士)	車両	工務	他	合計	記事
令和5年度採用人員	9	0	1	4	14	R4年度:22名採用

○入社式 令和5年4月3日



○新入社員研修

4月3日～4月25日の約3週間、本社で社会人としてのマナーや鉄道の基礎知識を学び、その後、配属先で其々の専門知識を学び、実践的な研修へ移行しました。

新入社員研修スケジュール

- 4月 3日 月入社式、入社初期研修(会社、各課定員、自己紹介、研修内容、退社手続き、企業理念、(Safety Mind)、安全意識について、防災訓練)、入社研修「基礎知識(鉄道概論)と安全について」
- 4月 4日 基礎知識研修(乗務手帳、切符(回数券・各車区間乗車の乗降券別、乗車)、乗車券別乗車券)
- 4月 5日 基礎知識研修(乗務手帳、切符(回数券・各車区間乗車の乗降券別、乗車)、乗車券別乗車券)
- 4月 6日 基礎知識研修(乗務手帳、切符(回数券・各車区間乗車の乗降券別、乗車)、乗車券別乗車券)
- 4月 7日 基礎知識研修(乗務手帳、切符(回数券・各車区間乗車の乗降券別、乗車)、乗車券別乗車券)
- 4月 8日 基礎知識研修(乗務手帳、切符(回数券・各車区間乗車の乗降券別、乗車)、乗車券別乗車券)
- 4月 9日 基礎知識研修(乗務手帳、切符(回数券・各車区間乗車の乗降券別、乗車)、乗車券別乗車券)
- 4月 10日 基礎知識研修(乗務手帳、切符(回数券・各車区間乗車の乗降券別、乗車)、乗車券別乗車券)
- 4月 11日 基礎知識研修(乗務手帳、切符(回数券・各車区間乗車の乗降券別、乗車)、乗車券別乗車券)
- 4月 12日 基礎知識研修(乗務手帳、切符(回数券・各車区間乗車の乗降券別、乗車)、乗車券別乗車券)
- 4月 13日 基礎知識研修(乗務手帳、切符(回数券・各車区間乗車の乗降券別、乗車)、乗車券別乗車券)
- 4月 14日 基礎知識研修(乗務手帳、切符(回数券・各車区間乗車の乗降券別、乗車)、乗車券別乗車券)
- 4月 15日 基礎知識研修(乗務手帳、切符(回数券・各車区間乗車の乗降券別、乗車)、乗車券別乗車券)
- 4月 16日 基礎知識研修(乗務手帳、切符(回数券・各車区間乗車の乗降券別、乗車)、乗車券別乗車券)
- 4月 17日 基礎知識研修(乗務手帳、切符(回数券・各車区間乗車の乗降券別、乗車)、乗車券別乗車券)
- 4月 18日 基礎知識研修(乗務手帳、切符(回数券・各車区間乗車の乗降券別、乗車)、乗車券別乗車券)
- 4月 19日 基礎知識研修(乗務手帳、切符(回数券・各車区間乗車の乗降券別、乗車)、乗車券別乗車券)
- 4月 20日 基礎知識研修(乗務手帳、切符(回数券・各車区間乗車の乗降券別、乗車)、乗車券別乗車券)
- 4月 21日 基礎知識研修(乗務手帳、切符(回数券・各車区間乗車の乗降券別、乗車)、乗車券別乗車券)
- 4月 22日 基礎知識研修(乗務手帳、切符(回数券・各車区間乗車の乗降券別、乗車)、乗車券別乗車券)
- 4月 23日 基礎知識研修(乗務手帳、切符(回数券・各車区間乗車の乗降券別、乗車)、乗車券別乗車券)
- 4月 24日 基礎知識研修(乗務手帳、切符(回数券・各車区間乗車の乗降券別、乗車)、乗車券別乗車券)
- 4月 25日 基礎知識研修(乗務手帳、切符(回数券・各車区間乗車の乗降券別、乗車)、乗車券別乗車券)



○令和5年度上期入社社員フォローアップ研修

入社後経験して来た事象の中で、困難に感じた点や疑問などを挙げ、先輩社員からの解決策や助言を今後の業務の糧として吸収し、この半年を振り返りとなりました。また、「地元観光地の再認識」や「もし自分が採用担当者なら」と課題を与えたグループワーク等を通して、久々に顔を合わせる社員にとって、良い交流の機会となりました。



○部外教育機関の積極的な活用

各系統において若手社員、経験の浅い社員並びに中堅社員に対する教育について、部外の専門的な教育を受講することで知識・技能の向上をはかっています。

項目		運輸系統	施設系統	電気系統	車両系統	計
令和4年度	受講講座数	5	3	7	1	16
	受講人員	8	3	7	1	19
令和5年度	受講講座数	7	3	8	1	19
	受講人員	18	3	8	1	30

○資格者の育成

継続的かつ安定的に業務を遂行していくために、各系統においては業務に必要な資格取得を継続するとともに、世代交代に向けて運転士養成等を行いました。

項目	運転士(DC)	運転士(EC)	車掌	指令員	信号係員	計
令和4年度	4	0	4	1	0	9
令和5年度	2	0	5	1	0	8

※その他資格者教育

・小型移動式クレーン講習 1名 ・床上式操作クレーン講習 1名 ・玉掛講習 1名 ・ガス溶接 1名

【乗務員養成】

○動力車操縦者(甲種内燃車)DC

・令和4年12月～机上教育 令和5年3月学科試験 令和5年 5月技能試験 2名



○動力車操縦者(甲種電気車)EC

・令和6年1月～机上教育 令和6年3月学科試験 令和5年 6月技能試験 2名予定



○車掌

・令和5年3月15日～机上教育 令和5年 4月 1日～見習い 2名
 ・令和5年9月25日～机上教育 令和5年10月12日～見習い 3名

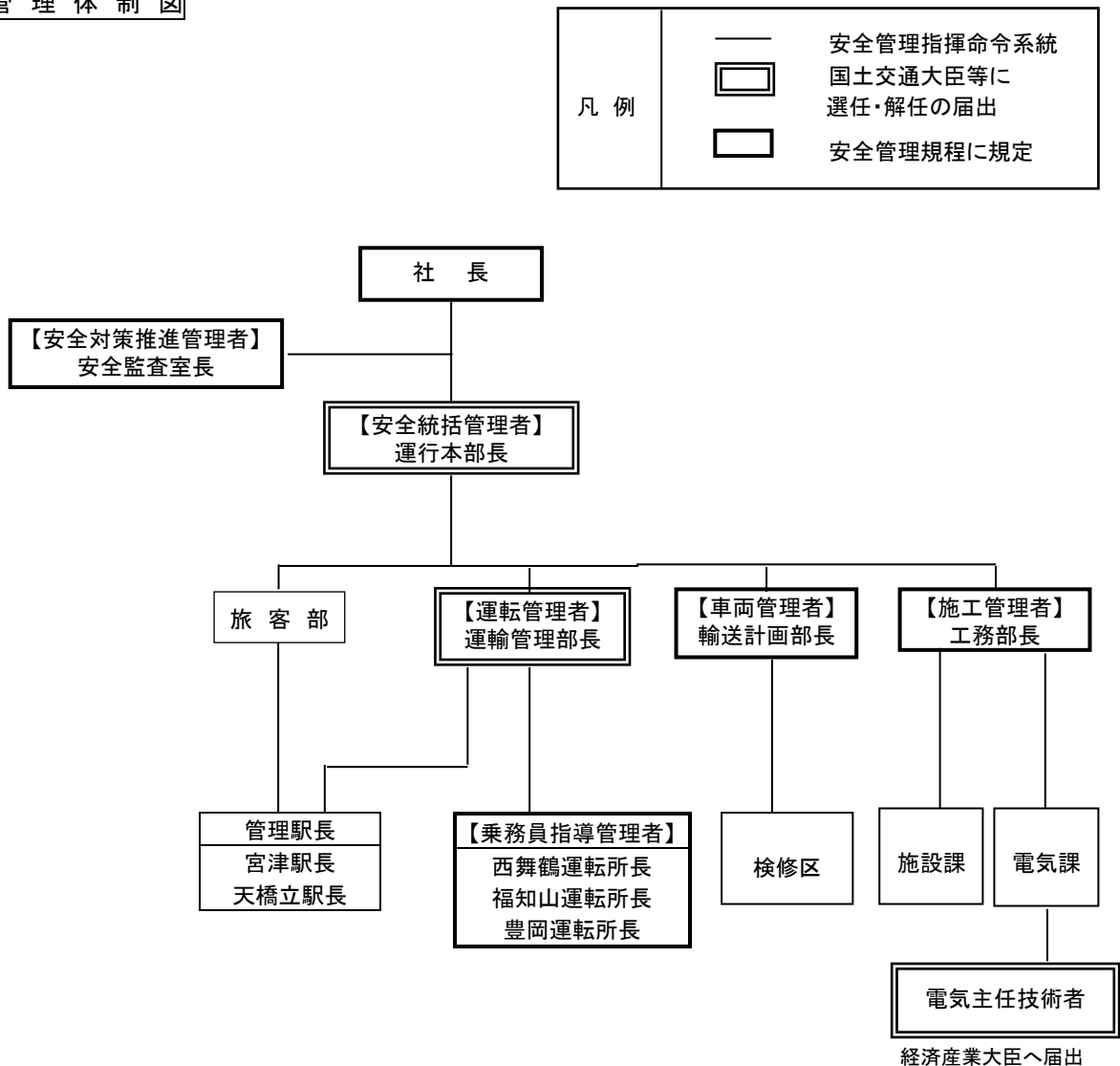
安全管理体制整備等、安全の取り組み

[安全管理体制]

○安全管理規程を制定し、社長をトップとする安全管理体制を構築しています。安全統括管理者、運転管理者、車両管理者、施工管理者、乗務員指導管理者を選任し、その責務を明確にしています。

役職	役割
社長	輸送の安全の確保に関する最終責任を負う。
安全統括管理者	輸送の安全の確保に関する業務を統括管理する。
運転管理者	安全統括管理者の指揮のもと、列車の運行管理、乗務員の育成及び資質の維持その他運転に関する業務を管理する。
乗務員指導管理者	運転管理者の指揮のもと、乗務員の資質の維持を管理する。
施工管理者	安全統括管理者の指揮のもと、鉄道施設を維持管理するため、施設業務を管理する。
車両管理者	安全統括管理者の指揮のもと、車両を維持管理するため、車両業務を管理する。
安全対策推進管理者	事故防止に関する事項、輸送の安全の確保に必要な設備投資、人事、財務に関する事項を統括する。

安全管理体制図



【安全に関する会議等】

○安全対策委員会[毎月第3木曜日開催]

安全統括管理者を委員長として、各系統の責任者・現場長等が出席し、安全・輸送に関するデータをもとに、鉄道運転事故等の未然防止策、再発防止策等の安全対策について意見交換、情報の共有化等を図っています。

- ・出席者 社長、本社内各部長・関係課長、各現場長
- ・議題 運転事故等発生件数、発生内容
発生事象の原因究明・対策の水平展開等
「事故の芽」等その他事象の水平展開等
労働災害発生状況
運輸局等事故情報の水平展開(事例研究)

○安全対策会議[令和6年4月18日開催]

社長を議長として、安全管理規程に定める安全統括管理者、運転管理者、車両管理者、施工管理者、乗務員指導管理者、電気主任技術者等により、運転並びに労働災害事故の防止について協議しさらなる安全性の向上に努めています。

- ・開催日 毎年1回
- ・出席者 社長以下安全管理規程に定める管理者及び各現場長
- ・議題 前年度の輸送に関する目標・取り組み状況
前年度安全管理体制に係わる内部監査結果等の確認
次年度の目標・重点実施施策の決定等

○他会社(JR、協力会社等)の事故防止会議・合同会議等への参加

事故防止、安全対策等の情報の共有化等で連携を図り事故防止に努めています。

【車両】 JR西日本近畿統括本部・WILLER TRAINS 合同脱線復旧訓練

開催日 令和5年7月31日

開催場所 JR 西日本福知山電車支所

訓練内容 復線器・引張機の使用方法を確認し異常時対応能力の向上を図った

JR西日本近畿統括本部・WILLER TRAINS 合同脱線復旧訓練

開催日 令和5年12月4日

開催場所 JR 西日本福知山電車支所

訓練内容 脱線復旧器材による訓練を実施した

【電気】 JR西日本近畿統括本部福知山電気技術センター・WILLER TRAINS 電気関係 合同事故防止会議

開催日 令和5年11月10日開催

議題等

- ①作業・事故時における連絡体制
- ②事故事例検討(力・信・通)
- ③協定等の一覧について
- ④保全・工事における会社間情報提供
 - ・福知山変電所老朽取替工事
 - ・山陰線 B_SRC 更新
 - ・工事関係触車事故防止準則(在来線)の改正



○安全評価外部委員会

鉄道輸送や設備管理等について、安全対策の更なる充実のため、鉄道安全分野において高い技術力や見識を有する外部専門家により、ご指導・ご助言をいただく安全評価外部委員会は、今年度は10月及び3月に開催しました。

・委員会メンバーの方々

委員長	東京大学 生産技術研究所 教授	須田教授
委員	静岡英和学院大学短期大学部長	重森教授
	京都大学名誉教授 防災研究所元所長	中川名誉教授
	株式会社京三製作所上席特別顧問 首席安全性評価監理官	水間工学博士
	鉄道総合研究所車両制御技術研究部	福田上席研究員

・令和4年度 第16回 安全評価外部委員会

- 開催日 令和5年10月3日
- 開催場所 Web会議
- 概要
 - ・踏切障害事故について
 - ・運転事故等の発生状況
 - ・獣障害
 - ・大雨による軌道冠水・土砂流入について
 - ・車両修繕の現状
 - ・設備投資計画について

・令和4年度 第17回 安全評価外部委員会

- 開催日 令和6年3月27日
- 開催方法 Web会議
- 概要
 - ・令和5年度運転事故等の発生状況
 - ・設備修繕の現状
 - ・電気関係設備故障の現状
 - ・車両修繕の現状

[内部監査]

○安全管理体制の構築・改善における取組の適合性及び安全管理体制の有効性の確認を行うことにより、安全管理体制上の課題や問題点を見出すことを目的に、内部監査員が経営トップ、安全統括管理者及び各部門別(本社部門・現場合同)に監査を実施しています。

(内部監査の流れ)

監査計画・監査チェックシート等作成 ⇒ 周知・配布・回答 ⇒ 現場で監査実施(インタビュー等) ⇒ 部門別監査結果作成 ⇒ 各部門別報告書等送付 ⇒ 安全対策会議に付議・報告

監査結果は是正・改善に努めるため、翌年度の重点実施施策への反映や監査の実施方改善に活かすほか、月実施の「安全の日」等を活用し確認するとともに、翌年度の監査においても確認し改善に努めています。

また、監査行程、監査内容及び監査結果等は取締役会に付議・報告し経営トップのもと取り組んでいます。

(監査項目)

- ① 安全方針・行動規範の周知・実施状況の確認
- ② 安全重点施策の実施状況の確認
- ③ 教育訓練・研修計画などの確認
- ④ 法令等の遵守状況(未然防止のための予防措置の状況確認)
- ⑤ 情報伝達・コミュニケーションの確保
- ⑥ 事故・ヒヤリハット情報の収集及び活用
- ⑦ 規程・帳票類、運転関係用品の整備の確認
- ⑧ 過去の事故に対する対策の実施状況

(監査日時)

令和6年2月12日～令和6年2月16日の間で実施しました。

[お客様・沿線の皆さま・関係機関との連携]

○国道312号下宮拡幅 完成式典

久美浜～コウノトリの郷間 鎌田橋りょうと交差する国道312号下宮地区の拡幅工事が竣工し、完成記念式典に出席しました。この工事によって、橋台の安定性が向上することより、更に列車運行の安全性が高まりました。

令和5年6月5日 参加人員 KTR、兵庫県、豊岡市、地元関係者、工事関係者等 約70名 WILLER TRAINS 2名



○宮舞線・宮豊線各駅に設置する18駅21個の集札箱の受け渡し式典

使用済みつぶや不足運賃を入れていただく「駅集札箱」の経年劣化に伴い、京都府立峰山高等学校機械創造科の生徒の方々に新しく製作していただいた集札箱の受け渡し式典を行いました。(宮舞線・宮豊線の宮津駅を除く18駅に設置)

令和5年11月21日 参加人員 峰山高等学校8名 WILLER TRAINS 4名



○地元保育所園児による花壇の植栽【与謝野駅】

地元保育所園児が与謝野駅の花壇にチューリップの球根を植え、その横に好きな花や名前を書いたプレートを見立てて頂きました。また、春の花が咲く頃には見学に来て頂いています。

- ・令和5年 4月 5日 参加人員 山田保育所22名、WILLER TRAINS 4名
- ・令和5年10月26日 参加人員 山田保育所23名、WILLER TRAINS 4名



○駅清掃(夏期・冬期)

通常の清掃とは別に年2回、お盆と年末年始の繁忙期の前に、駅社員が中心となり全駅の大掃除を行います。

- ・夏季:令和5年8月3・4・7日 参加人員33名
- ・冬季:令和5年12月4・6・7日 参加人員23名



○「鉄道関係近畿運輸局長表彰」受賞

令和5年10月12日令和5年度鉄道関係近畿運輸局長表彰式において、運転責任事故ゼロはもちろんのこと日々安全について真摯に取り組んできた行動が評価され、「運転無事故表彰」を受賞しました。また、福知山運転所 車掌主任が運転関係従事員表彰を受賞いたしました。



安全報告書へのご意見の募集

安全報告書の内容や弊社の取り組みについて、下記までご意見をお寄せください。

ご連絡先 本社 安全監査室 電話 0772-22-8571

FAX 0772-25-2380

メールアドレス otoiawase@willer.co.jp

受付時間 月～金 9:00～18:00(祝日を除く)